

■After 建築名称 下段: 英語名	ニューカネノ1期 New Kaneno1		
建築用途	大分類 商業施設	小分類 卸売り店舗	
改修設計者	海法圭建築設計事務所	URL	
所在地	東京都中央区日本橋横山町	Google Map	
改修年	2016年		
建築規模	規模: 地上6階、地下1階		After 1階の店内 撮影者 撮影: 水津惣一郎 提供者 提供: 海法圭建築設計事務所
掲載書誌			概要 after 5万点全てを収納できる2サイズの段ボール引出し箱を設計しレイアウトした卸売店舗ビルの改修プロジェクト。
賞・選定			
資料・その他	URL		
■Before 建築名称	かねの		概要 before 日本最大の間屋街、東日本橋の卸売店舗
建築用途	大分類 商業施設	小分類 卸売り店舗	
■写真 Before 改修前の店内の状況	After 段ボールの引出し箱と桧フレームを積み上げた間仕切り	After グレーの段ボール板を用いて作成した収納引出し	
			
撮影者 撮影: 海法圭建築設計事務所 提供者	撮影者 撮影: 水津惣一郎 提供者 提供: 海法圭建築設計事務所	撮影者 撮影: 水津惣一郎 提供者 提供: 海法圭建築設計事務所	
■リノベーション内容	キーワード 積層、室内改変	内容 <JIAが開催した講演会記録より引用> 日本最大の間屋街、東日本橋に立つ卸売店舗ビルの改修プロジェクト。5万点という大量のストックを店内に納めつつ、ディスプレイとしても商品に目が向く内装が求められた。圧倒的な物量・短工期・低予算のなかで、独自の個性を持つバイヤーの世界観を邪魔せず引き立てる店舗が求められた。間屋街は視界に必ず段ボール箱が入るほど、段ボールとともに成立する商業形態である。そこで、地券紙(古紙を原料とした無着色の原紙)を用いたグレーの段ボール板を用いて、5万点全てを収納できる2サイズの引出し箱を設計した。無着色の段ボールは茶色より抽象度が高く、バイヤーの世界観を阻害しない。また商品ディスプレイ部は、無垢の国産桧角材で単純なフレームを現場で製作した。現場では工場で作られたおおよそ3000個の引出し箱と、桧フレームを積み上げるのみとし、150坪の店舗内装(1~3階)を2日間で組み上げた。箱を積み上げる操作のみでプロポーシヨも環境も異なる複数の空間に分割しつつ、全体がゆるやかにつながる環境体をつくりあげた。	
■備考	建物は解体され現存しない		
■作成者 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		作成協力者 海法圭建築設計事務所